

取組概要

本匠中学校では、「確かな学力を身に付け、人間性豊かで、たくましい郷土愛あふれる生徒の育成」を目指し、学校・家庭・地域が連携・協働した地域学習等の取組を推進したり、生徒の実態を踏まえて「個別最適な学びと協働的な学び」の充実に向けた取組を進めたりしている。

工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆ 2ヶ月に1回の学校自己評価アンケートを行い、各種の客観的なデータを用いて取組状況・達成状況の確認、生徒の実態把握を行いながら、検証・改善を短期で行っている。
 - ◆ 「郷土愛あふれる生徒の育成」に向け、学校・家庭・地域が連携しながら「茶育」「伝統芸能」「防災」の探究的な学習に取り組むとともに、学びの様子を積極的に発信している。
- ※「茶育」・農林水産省が子どもの頃から茶に親しむ習慣を育むために、学校教育の場で茶を活用した食育（以下「茶育」という。）を推進するもの。

農林水産省「茶育」ウェブサイト



授業づくりの工夫



個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた取組



学習方法や資料を自分で選択したり、生徒個々の学習速度や理解度に応じた個別の支援を行ったりする生徒が自分たちで学びを進めることができるようにする

働き方改革の工夫

- ◆ 部活動における複数担当制や部活動終了後からの短時間退勤を推奨するとともに、ICTを活用した会議等資料のペーパーレス化、連絡事項のスプレッドシート等による即時共有体制を構築して時間削減につなげている。

本匠のひと・もの・ことに関わる探究的な学習の充実



授業の約束、「めざす生徒の姿」を可視化して教職員と生徒とで共有



本匠版百人一首を制作

